慣用句(上級)プリント36（ルビつき）

月　日　名前 _____

問1 髪を切って坊主頭（ぼうずあたま）にしたり、出家したりすることを「（　）を丸める」といいます。（　）に入る言葉はどれですか？

1. 肩
2. 頭
3. 腰
4. 顔

問2 「手綱を締める」の意味はどれですか？

1. 他人の意見を聞き入れず、自分のやり方を押し通す
2. 物事の進行を遅らせて、失敗しないように慎重に待つ
3. 相手に自由を与え、好きなようにさせる
4. 相手を厳しく管理したり、勢いを抑えたりして統制する

問3 「顔向けできない」を慣用句の意味で正しく使っている文はどれですか？

1. 用事が重なって、しばらく実家に顔向けできない。
2. 混雑していて前方に顔向けできない。
3. 約束を破り、友人に顔向けできない。
4. 日差しが強くて顔向けできない。

問4 上司に推薦してもらえるよう、先輩に（　）を添えてもらった。（　）に入る言葉はどれですか？

1. 口
2. 目
3. 手
4. 足

問5 来月の予算について（　）算用を立てる。（　）に入る言葉はどれですか？

1. 足
2. 顔
3. 胸
4. 頭

問6 後進に道を譲るため、彼は役職から（　）を引くことにした。（　）に入る言葉はどれですか？

1. 首
2. 背
3. 足
4. 身

問7 「切羽詰まる」を慣用句の意味で正しく使っている文はどれですか？

1. 学校のプリントが切羽詰まるほど大量に積み上がっている。
2. 宿題の締め切りが明日になって切羽詰まった状況になり、急いで仕上げた。
3. 切羽詰まるほど、この料理は時間をかけて煮込んでいる。
4. 喉に餅が切羽詰まってしまい、息ができなくなった。

問8 「相槌を打つ」を慣用句の意味で正しく使っている文はどれですか？

1. 友人の話をよく聞いて、相槌を打つ。
2. 相手の言葉を無視して、黙って相槌を打つ。
3. 誰もいない静かな部屋で、一人で相槌を打つ。
4. 音楽のリズムに合わせて、太鼓で相槌を打つ。

問9 再会を待ちわびて（　）を焦がす。（　）に入る言葉はどれですか？

1. 腹
2. 胸
3. 肺
4. 頭

問10 「先手を打つ」の意味はどれですか？

1. 議論の場で最初に自分の意見を述べて主導権を握る
2. 物事の順序を間違えないように計画を立てる
3. 相手よりも早く目的地に到着するように努力する
4. 相手が行動を起こす前に、あらかじめ対策を講じる

問11 「二の舞を演じる」を慣用句の意味で正しく使っている文はどれですか？

1. 二の舞を演じるほど、彼はダンスの才能があった。
2. 彼は舞台で素晴らしい二の舞を演じて喝采を浴びた。
3. 同じミスで二の舞を演じることのないよう注意する。
4. 昨日の劇の二の舞を演じるために練習を重ねた。

問12 「後ろ指を指される」を慣用句の意味で正しく使っている文はどれですか？

1. 彼は後ろ指を指されるほど、誰よりも速く走る才能がある。
2. 卑怯な手段で勝ったため、周囲から後ろ指を指されることになった。
3. 後ろ指を指されるのが嫌なので、背筋を伸ばして歩くことにした。
4. 後ろ指を指されると、背中に冷たい風を感じて寒気がした。

いちごドリル プリント

つづきの無料プリント
「慣用句」のプリント一覧がひらきます

慣用句(上級)プリント36（ルビつき）　答え合わせ・解説

問1　答え 2　頭

「頭を丸める」の「頭」が入ります。意味は「髪をそって坊主頭にする。また、出家して僧になる」です。

問2　答え 4　相手を厳しく管理したり、勢いを抑えたりして統制する

「手綱を締める」は「相手を厳しく管理したり、勢いを抑えたりして統制する」という意味です。手綱を緩めるの反対です。

問3　答え 3　約束を破り、友人に顔向けできない。

「顔向けできない」の正しい使い方は「約束を破り、友人に顔向けできない。」です。 意味は「恥ずべきことをして、相手に合わせる顔がないこと」です。

問4　答え 1　口

「口を添える」の「口」の部分が入ります。 意味は「他人の話に言葉を付け加えて、うまくいくように取りなす」です。

問5　答え 3　胸

「胸算用（むなざんよう）」の「胸」が入ります。意味は「心の中で収支や見通しを計算すること」です。

問6　答え 4　身

正解は「身」です。「身を引く」で「自分の立場や地位から退く」という意味になります。

問7　答え 2　宿題の締め切りが明日になって切羽詰まった状況になり、急いで仕上げた。

「切羽詰まる」の正しい使い方は「宿題の締め切りが明日になって切羽詰まった状況になり、急いで仕上げた。」です。意味は「物事が差し迫って、どうにも逃げ場がなくなる・追い詰められる」ことです。

問8　答え 1　友人の話をよく聞いて、相槌を打つ。

「相槌（あいづち）を打つ」の正しい使い方は「友人の話をよく聞いて、相槌を打つ。」です。意味は「相手の話に合わせて、調子を合わせてうなずく」ことです。

問9　答え 2　胸

「胸を焦がす」の「胸」の部分が入ります。意味は「あることを強く思い、切なく思ったりすること」です。

問10　答え 4　相手が行動を起こす前に、あらかじめ対策を講じる

「先手を打つ」は「相手が行動を起こす前に、あらかじめ対策を講じる」という意味です。

問11　答え 3　同じミスで二の舞を演じることのないよう注意する。

「二の舞を演じる」の正しい使い方は「同じミスで二の舞を演じることのないよう注意する。」です。 意味は「前任者や他人の失敗と同じ失敗を繰り返す」です。

問12　答え 2　卑怯な手段で勝ったため、周囲から後ろ指を指されることになった。

「後ろ指を指される」の正しい使い方は「卑怯な手段で勝ったため、周囲から後ろ指を指されることになった。」です。 意味は「陰で他人から非難されたり悪口を言われたりする」です。

いちごドリル プリント